

2025 年度名古屋学芸大学健康・栄養研究所 研究・実践報告

■研究・実践の課題（テーマ）

瀬戸保健所主催「食の安心安全タウンミーティング」共催

■主任研究者 岸本 満

■共同研究者

■研究・実践の目的、方法、結果、考察や提案等の概要

目的：学生、一般市民、および地域の食品事業者と、食の安全・安心について直接意見交換を行うことで、情報の共有と相互理解を深める。あわせて学生の教育の場としても活用する。

方法：瀬戸保健所と名古屋学芸大学健康・栄養研究所の共催により、有識者による講演および意見交換会形式のタウンミーティングを開催した。

実施概要：日時：2025 年 9 月 9 日（火）13:00～16:00

場所：名古屋学芸大学 5 号館 521 教室

テーマ：「輸入食品における食の安全・安心」

実施内容：講演①：「知って安心！輸入食品の安全管理」

講師：厚生労働省 名古屋検疫所 企画調整官 中屋 剛 氏

講演②：「輸入食品の食品衛生について～ニッポンハムグループでの『食品安全』『品質』への取り組み～」

講師：日本ハム(株) 品質保証部 木村 圭佑 氏、
ジャパンフード(株) 内部統制室 黄 文誼 氏

意見交換会：コーディネーター：岸本 満（名古屋学芸大学 管理栄養学部 教授）

実施結果：参加者数：117 名（うち学生 90 名）

結果概要：2012 年度から続く共催事業の 12 回目として実施した。本年度は「輸入食品」をテーマに、検疫所による水際対策や民間企業による海外製造拠点の品質管理の実態について詳細な報告がなされた。学生からは「輸入食品の基準や制度の厳しさを知ることができた」「身近な食品の安全性がどう守られているか理解が深まった」といった感想が多く寄せられ、食の安全に対する信頼醸成に寄与する有意義な機会となった。